

2020年度販売士養成講習会等講
師登録研修会
小売業の類型・マーチャンダイ
ジング 3級・2級 追加講義

明治大学
菊池一夫

マーチャндаイジング 2級上巻

小売業の予算編成 2級上巻 pp.125-127.

・ 予算とは

企業の諸活動を貨幣的に表示し、それをまとめたもの。

目標利益を達成するための具体的な実行計画

収入や支出の予定・計画

教授法のポイント

予算という言葉の意味

①計画機能（利益計画、資金計画などの策定）

②調整機能（各部門、本部と店舗の調整）

③統制機能（差異分析）

損益分岐点分析 2級上巻 pp.131-132.

- 損益分岐点は、利益計画において、売上高と費用の損益がゼロになる売上高を指す用語
- 損益分岐点売上高 = 固定費 + 変動費
- 教授法のポイント
 - 固定費の意味
 - 変動費の意味
 - グラフで理解をする
- 小売企業は損益分岐点を下げるためにどのような努力をしているのかを考えさせる。

小売業の仕入形態 2級上巻 pp.138-139.

- **集中仕入**

仕入を一括集中して大量仕入を行い、数量割引を受ける方式

- **当用仕入（都度仕入）**

少量の商品を必要に応じて仕入れる方式

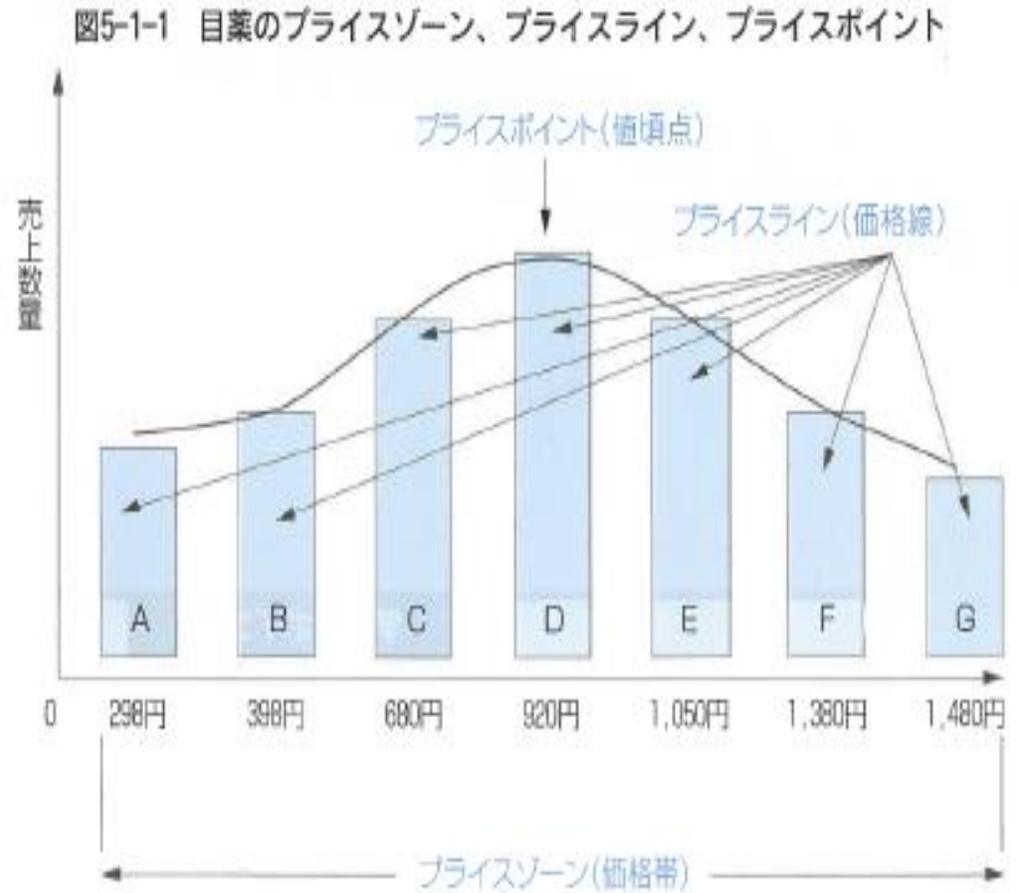
※教授法のポイント

2つの仕入方式のメリットとデメリットを比較

価格政策 2級上巻 p.154.

- プライスゾーン
- プライスライン
- プライスポイント

※教授法のポイント
→図5-1-1で理解する



価格政策の実際 2級上巻 pp.167-168.

- **価格弾力性**

※教授法のポイント ⇒ 経済学の意味を理解できるか？

需要の変化 / 価格の変化

- 1より大きい ⇒ 価格弾力性が高い
- 1より小さい ⇒ 価格弾力性が低い

※教授法のポイント ⇒ リベートとアローワンスの相違

リベート…割戻金

アローワンス…販売奨励金的な性格（事前に支払う）

商品回転率 2級上巻 pp.187-188.

- **商品回転率**
- 商品が店舗又は当該部門に入り、それらが販売されて店舗から出ていく動きに伴う**速度の指標**
↓
- 通常は1年間という**一定期間**にわたって平均手持ち在庫が販売された、もしくは入れ替えられた**時間数**

※教授法のポイント⇒具体性

- ある商品が年間で4回転しました。⇒計算上、何か月おきに入れ替わったといえるか？

• 補論

加速するキャッシュレス社会 3級上巻

p.42.

・キャッシュレス

「物理的な現金（紙幣・硬貨）を使用しなくても活動できる状態」である。

メリットと課題

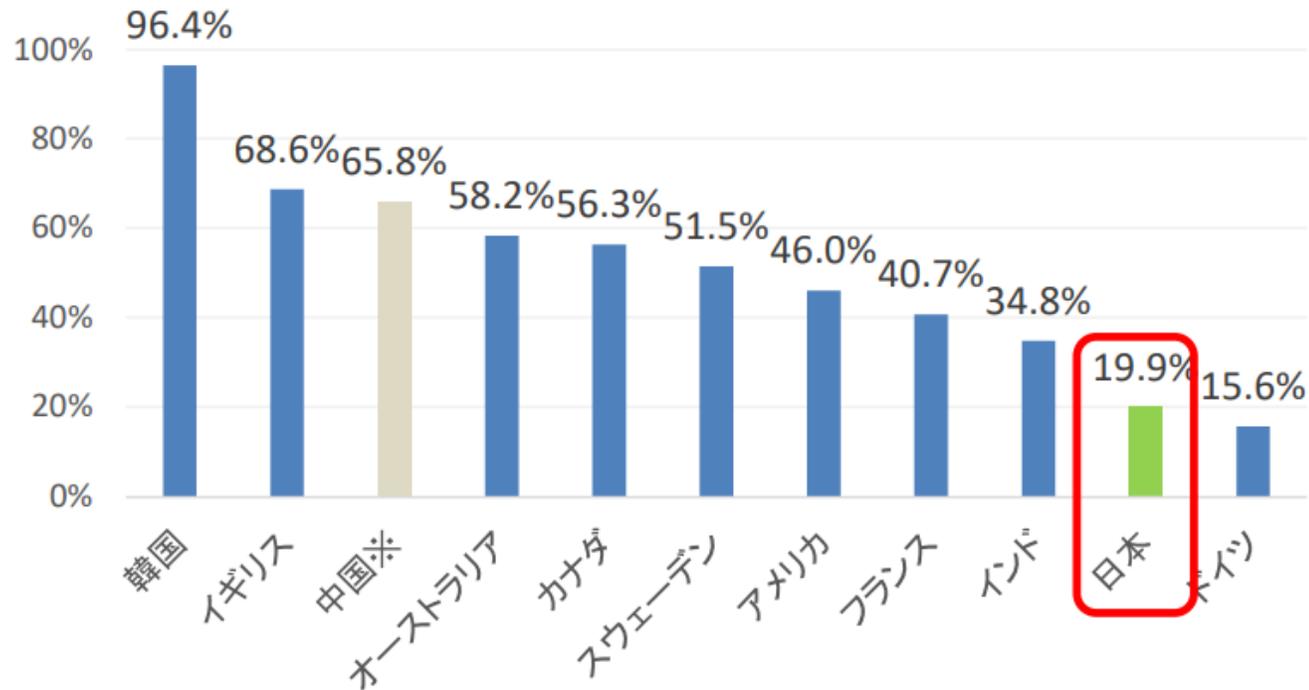
メリット

①会計処理の容易さ、②現金管理の手間が省ける、③客数・客単価の向上

課題 セキュリティ上の安全対策など

経済産業省（2020）『キャッシュレスの現状及び意義』

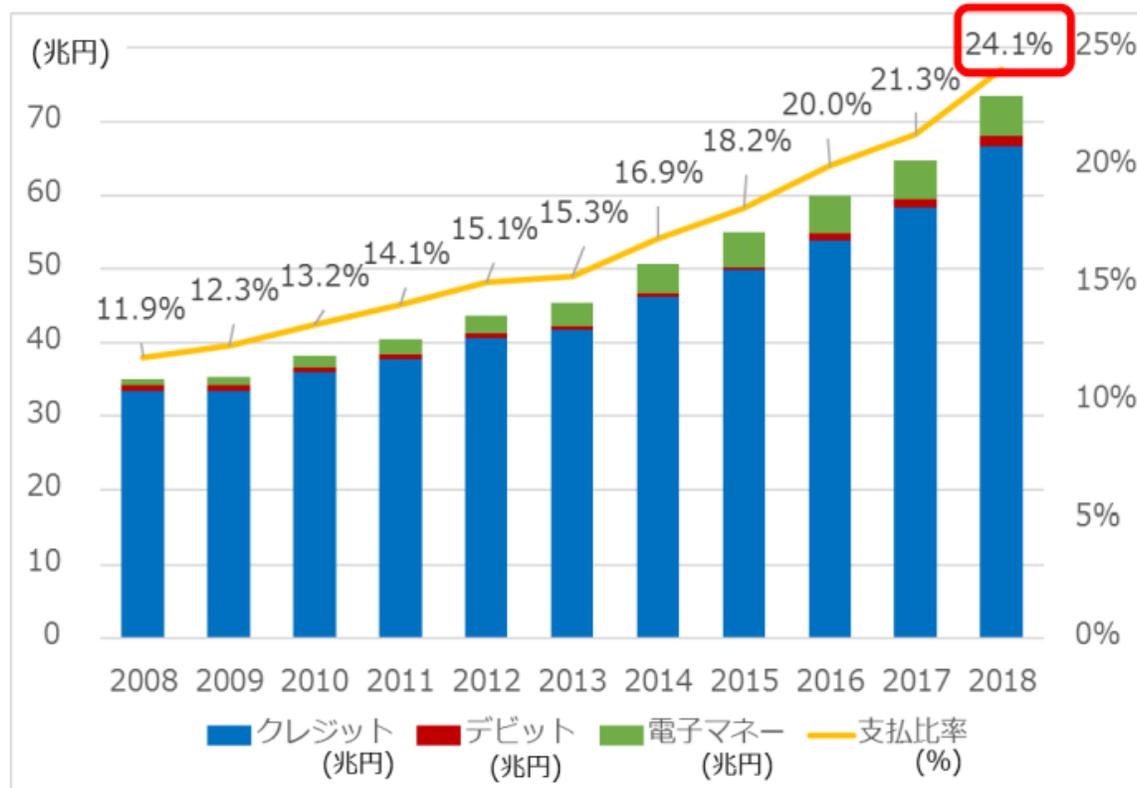
世界各国のキャッシュレス比率比較（2016年）

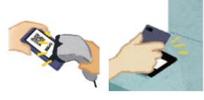


- 出典：
about_cashless.pdf
[\(meti.go.jp\)](http://meti.go.jp)

経済産業省（2020）『キャッシュレスの現状及び意義』

我が国のキャッシュレス支払額及び比率の推移（2018年） キャッシュレス決済とは ～ 主なキャッシュレス決済の例



クレジットカード	デビットカード	電子マネー (プリペイドカード)	モバイルウォレット (QRコードなど)
 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 後払い ✓ 与信審査あり ✓ スライド式/読み込み (IC) 式 /タッチ式 	 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 即時払い ✓ 与信審査なし ✓ スライド式/読み込み (IC) 式 /タッチ式 	 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 前払い ✓ 与信審査なし ✓ タッチ式 (非接触) 	 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 他の決済手段と紐づけ ✓ スマートフォンで決済 ✓ カメラ読み込み (QR) /タッチ式

• 出典：
about.cashless.pdf
meti.go.jp

(出典)内閣府「2015年度国民経済計算年報」民間最終消費支出:名目
 (一社)日本クレジット協会調査(注)2012年までは加盟クレジット会社へのアンケート調査結果を
 基にした推計値、平成25年以降は指定信用情報機関に登録されている実数値を使用。
 デビット:日本デビットカード推進協議会(J-debit) 2016以降は日本銀行レポート。
 電子マネー:日本銀行「電子マネー計数」

経済産業省（2020）『キャッシュレスの現状及び意義』

	店舗提示型 お店がコードを提示	利用者提示型 消費者がコードを表示
動的 決済の度に異なるQRを表示	<p>お店側がQRを提示 (金額も決済の度に表示)</p>  <p>消費者は読取り</p>	<p>消費者がQR/バーコードを表示</p> <p>①バーコード ②QRコード</p>  <p>画面を提示</p> <p>お店側は読取り</p>
静的 お店毎に常に同じQRを表示	<p>お店側がQR（紙）を提示 (金額は表示されず)</p>  <p>消費者は読取り (金額を打ち込み)</p>	<p>ほとんど存在しない</p>

- 出典：
[about_cashless.pdf](https://www.meti.go.jp/about_cashless.pdf)
([meti.go.jp](https://www.meti.go.jp))